



Cisco TrustSec VRF 対応 SGT

Cisco TrustSec VRF 対応 SGT 機能は、特定の Virtual Route Forwarding (VRF) インスタンスとセキュリティグループタグ (SGT) の交換プロトコル (SXP) 接続をバインドします。

- [Cisco TrustSec VRF 対応 SGT に関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [VRF 対応 SGT の設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec VRF 対応 SGT の設定例 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec VRF-Aware SGT の設定に関するその他の関連資料 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec VRF 対応 SGT の機能情報 \(4 ページ\)](#)

Cisco TrustSec VRF 対応 SGT に関する情報

VRF-Aware SXP

仮想ルーティングおよびフォワーディング (VRF) の SXP の実装は、特定の VRF と SXP 接続をバインドします。Cisco TrustSec をイネーブルにする前に、ネットワーク トポロジがレイヤ 2 またはレイヤ 3 の VPN に対して正しく設定されており、すべての VRF が設定されていることを前提としています。

SXP VRF サポートは、次のようにまとめることができます。

- 1 つの VRF には 1 つの SXP 接続のみをバインドできます。
- 別の VRF が重複する SXP ピアまたは送信元 IP アドレス持つ可能性があります。
- 1 つの VRF で学習 (追加または削除) された IP-SGT マッピングは、同じ VRF ドメインでのみ更新できます。SXP 接続は異なる VRF にバインドされたマッピングを更新できません。SXP 接続が VRF で終了しない場合は、その VRF の IP-SGT マッピングは SXP によって更新されません。
- VRF ごとに複数のアドレス ファミリがサポートされています。そのため、VRF ドメインの 1 つの SXP 接続が IPV4 および IPV6 両方の IP-SGT マッピングを転送できます。
- SXP には VRF あたりの接続数および IP-SGT マッピング数の制限はありません。

VRF 対応 SGT の設定方法

VRF とレイヤ 2 VLAN の割り当ての設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none">パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	interface type number 例： Device(config)# interface vlan 101	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	vrf forwarding vrf-name 例： Device(config-if)# vrf forwarding vrf-intf	VRF インスタンスまたは仮想ネットワークをインターフェイスまたはサブインターフェイスに関連付けます。 (注) 管理インターフェイスで VRF を設定しないでください。
ステップ 5	exit 例： Device(config-if)# end	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了し、グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 6	cts role-based l2-vrf vrf1 vlan-list 20 例： Device(config)# cts role-based l2-vrf vrf1 vlan-list 20	レイヤ 2 VLAN の VRF インスタンスを選択します。
ステップ 7	end 例： Device(config)# end	グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

VRF と SGT のマッピングの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	cts role-based sgt-map vrf vrf-name {ip4_netaddress ipv6_netaddress host {ip4_address ip6_address}} sgt sgt_number 例： Device (config)# cts role-based sgt-map vrf red 10.0.0.3 sgt 23	指定された VRF のパケットに SGT を適用します。 IP-SGT バインドは、指定された VRF と、IP アドレスのタイプによって示される IP プロトコルのバージョンに関連付けられた IP-SGT のテーブルに入力されます。
ステップ 4	end 例： Device (config)# end	グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

Cisco TrustSec VRF 対応 SGT の設定例

例：VRF とレイヤ 2 VLAN の割り当ての設定

```

Device> enable
Device# configure terminal
Device(config)# interface vlan 101
Device(config-if)# vrf forwarding vrf-intf
Device(config-if)# exit
Device(config)# cts role-based l2-vrf vrf1 vlan-list 20
Device(config)# end
  
```

例：VRF とレイヤ 2 VLAN の割り当ての設定

```
Device> enable
Device# configure terminal
Device(config)# cts role-based sgt-map vrf red 23.1.1.2 sgt 23
Device(config)# end
```

Cisco TrustSec VRF-Aware SGT の設定に関するその他の関連資料

関連資料

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、および機能セットに関する MIB を検索およびダウンロードするには、 http://www.cisco.com/go/mibs にある Cisco MIB Locator を使用してください。

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	https://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html

Cisco TrustSec VRF 対応 SGT の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りが無い限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1 : Cisco TrustSec VRF 対応 SGT の機能情報

機能名	リリース	機能情報
Cisco TrustSec VRF 対応 SGT	Cisco IOS XE Denali 16.1.1	Cisco TrustSec VRF 対応 SGT 機能は、特定の Virtual Route Forwarding (VRF) インスタンスとセキュリティグループタグ (SGT) の交換プロトコル (SXP) 接続をバインドします。

